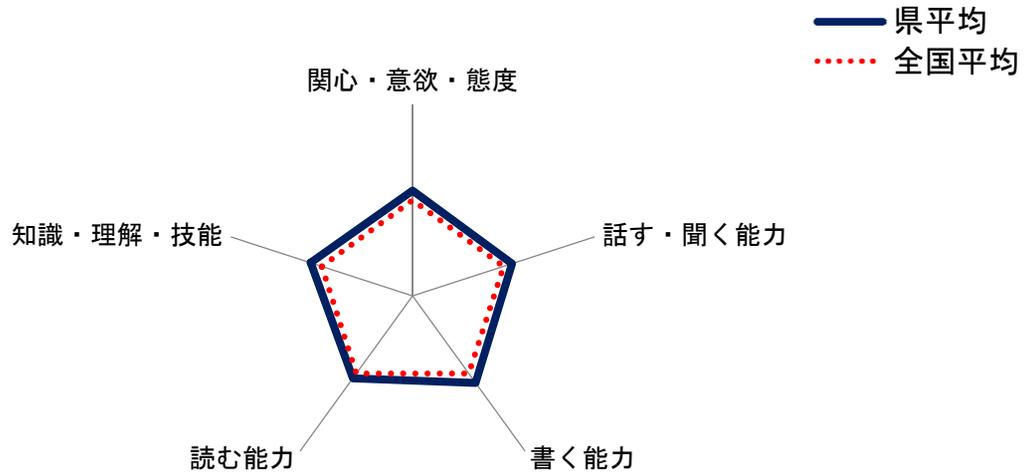
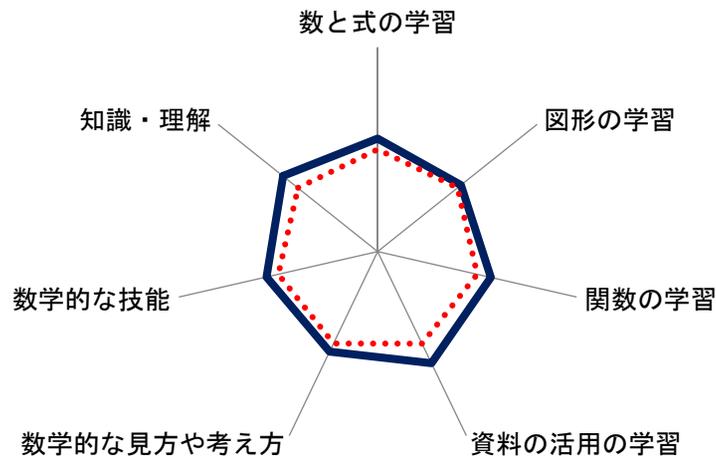


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

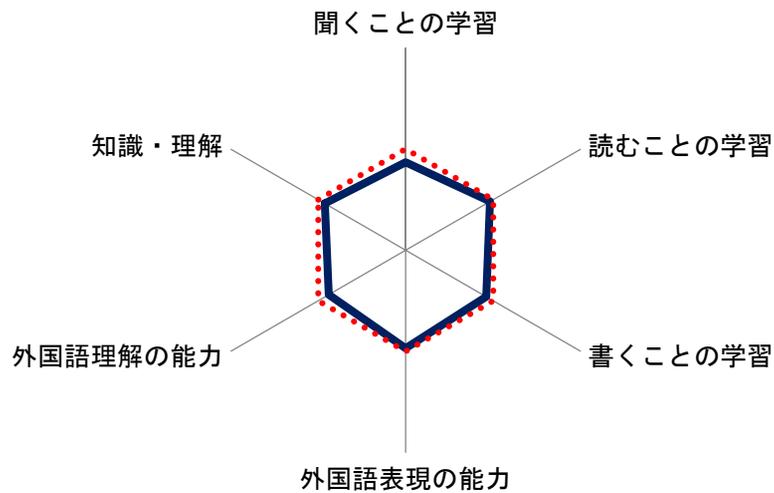
【国語】



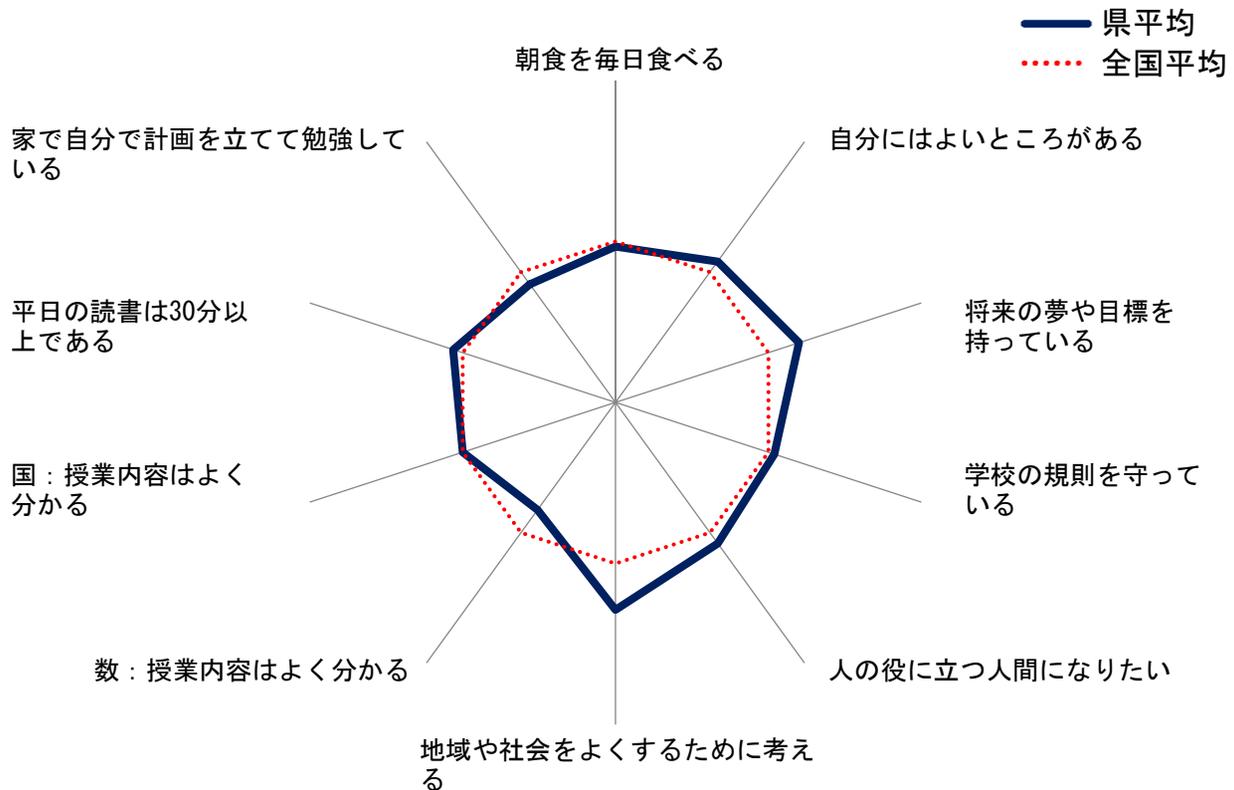
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、数学は全ての項目が全国平均を上回っている。特に、数学は「資料の活用の学習」、「知識・理解」の項目が良好である。しかし、英語は全ての項目が全国平均を下回っており、今後、設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すとともに、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組む必要がある。

生徒質問紙調査では、「地域や社会をよくするために考える」、「将来の夢や目標を持っている」の各項目が全国平均を大きく上回っており、この結果はキャリア教育の充実に向けた取組が影響していると思われる。「朝食を毎日食べる」の項目は小学校と同様に全国平均を下回っており、小中学校が連携した取組が必要である。「数学の内容がよく分かる」の項目は、引き続き全国平均を下回っており、生徒にとって「楽しい授業、分かる授業」となるよう、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が必要である。